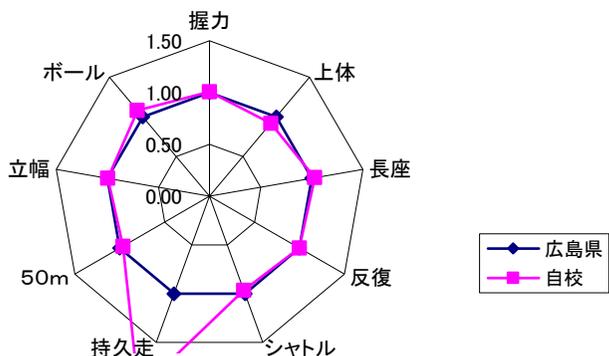


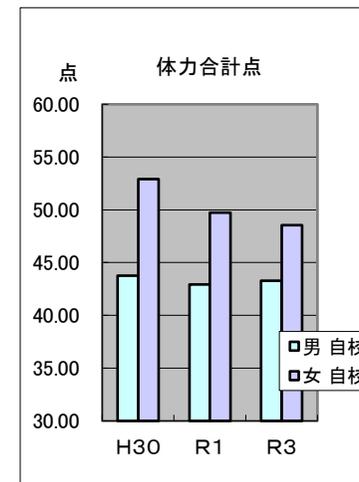
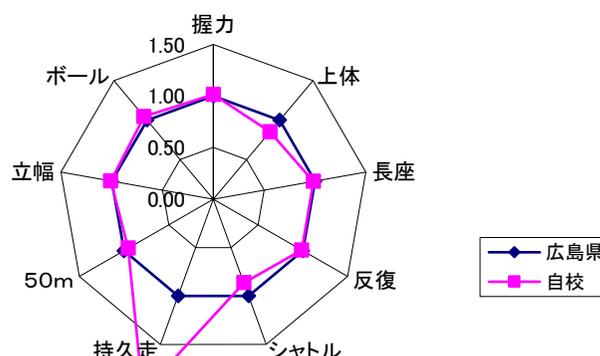
男子の体力合計点 学校 43.27点 県平均 43.19点

体力・運動能力調査比較(中2男子)



女子の体力合計点 学校 48.53点 県平均 50.88点

体力・運動能力調査比較(中2女子)



R3体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

- ① 50m走(呉市の課題種目)
 - ・2年生は、男子では全国平均で0.26秒、県平均で0.28秒、女子では全国平均で0.39秒、県平均で0.37秒下回る結果となった。
 - ・走る動作とスタートの技術が十分に身につけていないためだと思われる。
- ②(中学校区の課題種目)
 - ・2年生は、男子では全国平均で1.72m、県平均で1.73m、女子では全国平均で0.86m、県平均で0.61m上回った。
 - ・運動部や地域スポーツへの所属状況は男子79%、女子47%であり、記録では男女とも全国・県平均を上回っているものの、女子の投運動の経験不足による投力の二極化が顕著になってきている。
- ③(自校の課題種目)
 - ・2年生は、男子では全国平均で1.95回、県平均で2.83回、女子では全国平均で10.03回、県平均で7.64回下回っており、女子の格差が大きい。
 - ・他の種目同様、運動機会の減少が大きな原因と考えられる。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	<p>具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健体育科の授業で、瞬発力や体幹を支える筋力を高めるための運動を積極的に取り入れる。 ・陸上競技の授業では、スタートや中間疾走の姿勢を意識して指導を行う。
具体的な数値目標 (男子+0.3秒、女子+0.4秒)	
②中学校区の課題種目 (ハンドボール投げ)	<p>具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中で連携し、投げる動作を児童生徒の発達段階に合わせて習得できるように共通の運動を取り入れる。 ・小中一貫教育の特色を生かした交流を有効に活用して、中学生が小学生に教える機会を設定する。
具体的な数値目標 (男子+1m、女子+2m)	
③自校の課題種目 (20mシャトルラン)	<p>具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健体育科の授業や部活動において、全身持久力を高めるための運動を積極的かつ継続的に取り入れる。 ・外遊びや地域のスポーツ大会等への参加を呼びかけるなど運動機会を増やすとともに、運動を続けて行うための粘り強さを培う必要がある。
具体的な数値目標 (男子+5回、女子+10回)	

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)